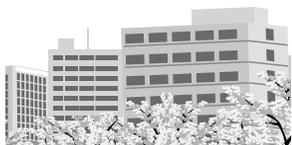


会員の広場



音楽余話Ⅱピアノ君ありがとう！

遠矢 厚久（東京）

ピアノを嗜んで66年。碌に練習しないので一向に上手くなりませんが、ピアノ君がこれまでの人生を支え癒してくれました。そのピアノ演奏で私が現在フォーカスしているジャズ演奏と即興演奏のイロハについて少しだけ

ご紹介したいと思います。

●ジャズの演奏方法

ジャズではまず原曲をジャジーにリズムミカルに弾いていきます。原曲を一通り弾き終わると、次はアドリブ演奏に入りますが約束事があります。ジャズの楽譜にはC（ドミソ）、G7（ソシレファ）、Am7（ラドミソ）など様々なコード（和音）が表示されています。

アドリブの左手はこのコードに従って演奏するのがルールです。右手は自由に弾いてもよいのですが、いきなり思うようには弾けません。上達するには市販のジャズアドリブフレーズ集等で練習を重ねるのが近道だと思います。フレーズとはメロディのひとつとまりと言ったらよいでしょうか。他にも、ジャズにはⅡ-V-I（ジャズ特有のコード進行、ツー

ファイブワン）、テンション（ドミソといった

本来のコードにドから数えて9、11、13番目の音を一品付け加えるコード）といったルールもあります。ジャズは自由奔放に演奏するイメージがありますが、実際はいろんなルールがあるので、理論学習も欠かせません。

●即興の演奏方法

即興演奏は全く新しい曲をイメージしながら瞬時に演奏する技法です。そのような芸当が何故できるのか。私の場合ですと、弾き始めると右手は矢継ぎ早にフレーズが浮かんできます。左手は右手のフレーズに対応するコードを無意識に押さえて弾いています。左指はいろんなコードを覚えているのです。

●アドリブも即興もノリノリ感が大切

アドリブも即興も演奏時のノリノリ感に大きく左右されます。居住地の市が主催した今年のXmasコンサート。30分の持ち時間でポップスメインに11曲演奏しました。うち「Fly Me To The Moon」「The Way You Look Tonight」はアドリブ付きで。最後はマイナー調の即興（当然ノンタイトル）で締めましたが、即興では初めてサビを無意識に転調（ハ長調から変イ長調へ）して弾いていました。聴衆の面前で気分が一層高揚したところが転調演奏を可能にしたのかもしれない。

なんだか小難しいピアノ演奏のお話だったかもしれませんが、ピアノで脳は活性化するか。これからも最期までピアノにお世話になろうと思います。